

## 横尾敬介審査委員長が賞状を授与（兵庫県立洲本実業高等学校）



上段左から谷岡涼さん、横尾敬介審査委員長、松本和夫さん、古岡大輝さん、山本碧さん、緑樹宏斗さん

経済同友会は2017年度から、産業教育振興中央会と共催で「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」を開催している。研究文の部で2018年度経済同友会賞を受賞した兵庫県立洲本実業高等学校を横尾敬介審査委員長が訪問し、受賞生徒に賞状と楯を授与した。その後、電気科で学ぶ生徒約120人に向けて記念講演を行った。

「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」は、産業教育振興中央会が1982年から主催してきた歴史ある事業だ。専門教育を主とする学科で学ぶ高校生たちの学習意欲を高め、専門高校の活性化を図ることを目的としている。

経済同友会は、活力ある社会を築く上で、仕事に直結する技術や知識を学ぶ専門高校生の役割は大きいとみて、賞を設けることにした。

1月11日、小林いずみ審査委員の岩手県立水沢農業高等学校への訪問に続き、1月17日、横尾敬介審査委員長が研究文の部で経済同友会賞を受賞した兵庫県立洲本実業高等学校（受賞作品「エネルギー自立社会をめざすマグリウス風力発電機の開発」）にて、受賞生徒

に賞状と楯を授与して歓談した。横尾審査委員長は「風力発電機には、さまざまなアイデアや新しい技術が盛り込まれていて、日本のエネルギー政策に意義のある研究だ」と受賞作をたたえ、生徒からは「受賞をきっかけに、自分たちの研究が世の中に広まるとうれしい」「受賞を励みにして、これからの人生に活かしたい」「いろいろな意見を出し合いまとめることが大変だったが、とても有意義だった。研究が評価されて光栄だ」と喜びの声が聞かれた。

その後の記念講演では、経済同友会の活動や理念を説明した後、「これからの時代に必要なこと」として、「旺盛な好奇心、多様な価値観の受容、得意分野を持つこと、チャレンジ精神、素心

深考」を心掛けて、充実した学生生活を送ってほしいと語り掛けた。

なお、本コンクールの詳細については、前月号「経済同友12・1月合併号」で紹介しており、当会ホームページには、全ての入選作を掲載している。



記念講演の様相

No.815 February 2019

# 経済同友会 2

## CONTENTS

### 特集

#### シンポジウム

**Japan 2.0 最適化社会の設計**  
—モノからコト、そしてココロへ— 03

#### Close-up 提言

労働市場改革委員会【提言】  
木川真 委員長  
雇用の流動化を促進し  
外国人材受け入れの仕組みづくりの推進を 14

物流改革を通じた成長戦略委員会【提言】  
渡邊健二 委員長

**環境変化と課題に対応した  
経済成長を持続可能とする物流改革を** 16

#### Seminar

第1311回 会員セミナー  
**日本の子ども貧困と学習支援の効果**  
渡辺由美子氏 特定非営利活動法人キッズドア 理事長 18

第1313回 会員セミナー  
**がん医療革命**  
～がんを治療するために～  
中村祐輔氏  
公益財団法人がん研究会 がんプレジジョン医療研究センター 所長 19

第1315回 会員セミナー  
**格差がもたらす体制の変革**  
～バブル崩壊後の世界経済～  
中前忠氏 中前国際経済研究所 代表 20

#### Column

**私の一文字** 佐藤義雄  
「経営者は覚悟を持って“岐路”へ挑め」 02

**リレートーク** 岡本祥治  
「『みらいの働き方』を創る」 13

**私の思い出写真館** 御立尚資  
「船上での緊張感」 23

**新入会員紹介**  
横尾敬介審査委員長が賞状を授与  
(兵庫県立洲本実業高等学校) 22